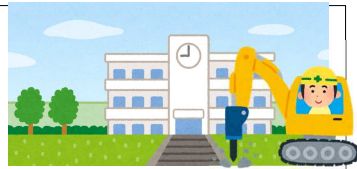


みらい通信

各務原市議会 市民派・チームみらい
杉山元則 古川明美
 事務所：蘇原六軒町 2-9 電話 383-2900 FAX 260-8233

小・中学校校舎の改築が始まります



学校名	建築年	改築年度	40年間費用
蘇原第一小	昭和 32 年	令和 10、11 年	34.3 億円
稲羽中学校	昭和 33 年	令和 11、12 年	29.6 億円
鵜沼中学校	昭和 36 年	令和 14、15 年	42.5 億円
那加中学校	昭和 35 年	令和 18、19 年	33.0 億円
那加第一小	昭和 39 年	令和 19、20 年	34.7 億円
稲羽西小	昭和 39 年	令和 20、21 年	24.2 億円
蘇原中学校	昭和 41 年	令和 21、22 年	35.4 億円
合計（全ての小中学校）			741.9 億円

学校校舎は 80 年間使用することを目標に、費用を試算しました。今後 40 年間に必要な改築費用などは 741 億円、1 年間で 18 億 5 千万円が必要と示されました。

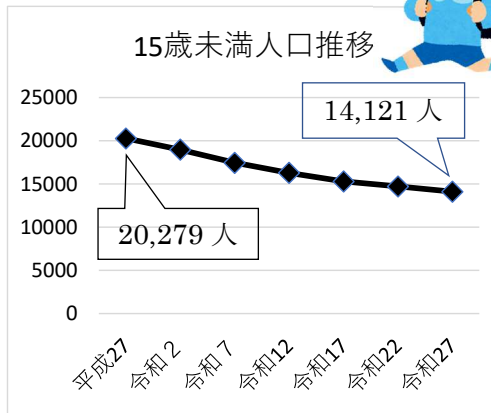
過去 5 年間の学校改築予算の平均は年間 10 億 6 千万円なので **1.75 倍に膨らむ**ことが明らかになりました。

※学校施設の総量を減らさざるを得ないのでは

児童生徒数の減少は深刻な問題



右のグラフは各務原市の 15 歳未満人口推移です。令和 27 年には 14,121 人となり 6 千人が減少する予測です。近い将来、市内小学校 5 校が全児童数 120 人を下回り、学校統廃合などを検討しないと見えない可能性があります。



- 【小規模校は以下のようなデメリットが考えられます】
- ・クラス替えができないと、学級のルールや児童生徒の中の価値観が固定されがちになり、多様なものの見方、考え方を学んだり、新しいルールや人間関係を作り上げようとする機会が少なくなる。
 - ・友人同士やクラス間で競争する場面など、切磋琢磨する機会が少ないため、競争心や向上心が育ちにくくなる。
 - ・教員一人当たりの行事にかかる負担が増す。

校区の見直し、統廃合、小中一貫校の検討が必要になってきます

「退場させることができる」要領は撤回を



特別支援学校整備の市民説明会（1月23日）で市職員が「退場してください」と発言したことを謝罪すべきと3月議会で質問しました。その後、令和3年6月1日決済で「各務原市教育施設整備にかかる市民説明会実施要領」を市教育委員会が作成したのです。その要領の一部を紹介します。

- 参加者は説明会の開催趣旨に直接関係のないことは発言しない
- 参加者は事務局の指示に従わなければならない
- この要領に定める事項に従わないときは、これを制し、その命令に従わないときは退場させることができる



この要領は市職員の姿勢を明記しただけで、市民に命令するものではないと答弁がありました。しかし市側の意向に反する発言を止めることや、更には退場させることができると書かれており、市民の自由闊達な発言が抑制され、市民の権利を奪う内容です。教育長はなぜ認めたのかを指摘し、要領の撤回を求めました。

◆市政カフェのご案内◆

- 政治は暮らしです。どなたでも参加自由です。
- ① 8月7日(土)10時～
鵜沼福祉センター 集会室
 - ② 8月7日(土)13時30分～
産業文化センター 第1会議室

Facebook を見て下さい
「市民派チームみらい」

の対応能力が問われます。自治体内で支給は最下位だったことが問題になりましたが、自治体（ひとり10万円給付）も県1年前にあった定額給付金（ひとり24%、可児市29%）に対して、各務原市は11%と開きがありました。

バブル期並みのハコモノ建設はストップ

約 100 億円の市役所新庁舎がほぼ完成し、9月21日に開庁式が行われ新庁舎での業務が始まります。今後は **62 億円の新特別支援学校建設**と **70 億円の新総合体育館建設**事業が同時に進められ、30 億円の各務山工業団地、さらに市民公園リニューアルが計画され、まるでバブル期のようなハコモノ建設に思えてなりません。

一方で、出生数、児童生徒数が減少、高齢化と人口減少がさらに進めば、税金が減少、医療・介護費は増加し、**財政危機や公共施設の維持更新にかかる財源が確保できない恐れがあります。**

新総合体育館建設の土地取得費は？と質問しても、「具体的な場所が決まらなると試算できません」と答弁。新特別支援学校の教職員は 170 名ほどと聞くが、市が負担する人件費などの維持管理費は？と質問しても、「学校運営等の詳細が決定していないので試算できません」と答弁。あまりにも説明が不十分で、ふざけた答弁が返ってきます。市議会はこのような答弁は問題として、追及すべきと考えます。

新型コロナウイルス接種 各務原市は高齢者接種は7月末までに済ませる、7月15日、6月初旬の新聞には岐阜県内各市と比べて接種率が低い現状が報道されました。なぜ遅れてしまったのかと聞く、接種予約の混乱を防ぐ目的で、年齢別にずらして接種券を配布したことが仇となつて接種が遅れてしまったと説明がありました。

